

## ATP・迅速検査研究会が「HACCP導入へ向けた迅速検査実習」を開催 講義のほか、ATP検査、タンパク質検出、携帯型微生物観察器などを体験

ATP・迅速検査研究会（伊藤武会長）は、2月13日、東京・豊海町の（一財）東京顕微鏡院・豊海研究所で「第6回 HACCP 導入へ向けた迅速検査実習」を開催した。この実習は、講義の部と実習の部が設けられ、ATP ふき取り検査やタンパク質検出キット、携帯型微生物観察器、迅速・簡便な微生物培地などを体験する実習を中心に行われ、定員を上回る応募があり盛

況のうちに終わった。7月または8月に第7回の検査実習を、今秋には衛生管理をテーマとした講師陣充実の講演会をそれぞれ開催予定している。

講義の部では、（一財）東京顕微鏡院食と環境の科学センター名誉所長で ATP・迅速検査研究会の会長でもある伊藤武氏が「食品企業の自主管理の意義～ HACCP における自主管理の重要



（一財）東京顕微鏡院食と環境の科学センター名誉所長で ATP・迅速検査研究会会長の伊藤武氏

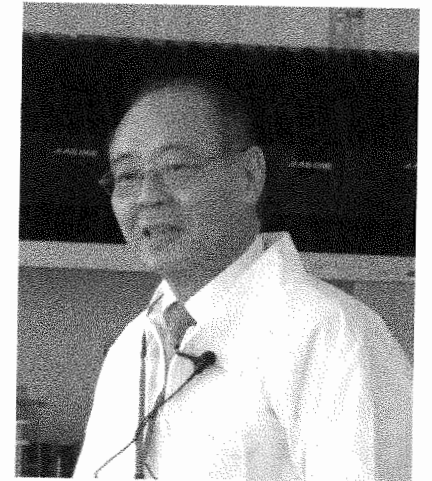


手洗いチェッカーを用いた実習を行う東京サラヤ㈱の松村寿代氏

性」と題して、食品等事業者が自主管理や自主検査を行う意義について講義した。東京サラヤ㈱の松村寿代氏は「HACCP では単独では機能しない / 一般衛生管理の重要性～手洗いの衛生」と題して、衛生的手洗いの手順や習慣化のポイントなど手洗いの重要性を解説するとともに、蛍光塗料を含むローションとブラックライトを用いた手洗い

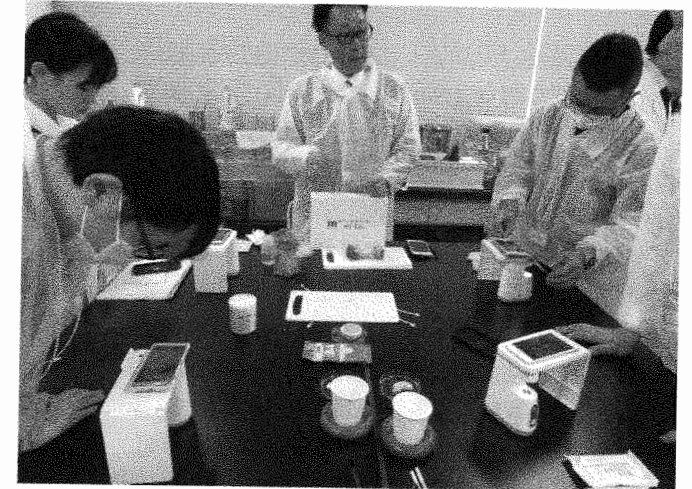


キッコーマンバイオケミファ㈱の齊藤渉氏



栄研化学㈱の新井正啓氏

チェッカーで、受講者の手洗い後の洗いの残しを目視確認する実習も行われた。キッコーマンバイオケミファ㈱の齊藤渉氏は「ATP ふき取り検査について」と題して、食中毒防止のための二次汚染対策と衛生教育の徹底に ATP ふき取り検査が有効であると解説し、肉処理場における清浄度検査に使用されていることや、手指の手洗い指導にも活用されているなど ATP ふき取り検査の運用例を広く紹介した。栄研化学㈱の新井正啓氏は「簡易・迅速な微生物検査法について」と題し、操作性に優れたスタンプ法培地を取り上げて、使用方法の解説のほか、さまざまな使用目的に適した培地を紹介した。



アクアシステムの「mil-kin(見る菌)」の操作実習の様子

実習の部では、検査資材・試薬をアクアシステム㈱、アヅマックス㈱、エア・ブラウン㈱、栄研化学㈱、㈱エルメックス、キッコーマンバイオケミファ㈱、スリーエム ジャパン㈱、大日本印刷㈱、東京サラヤ㈱、日水製薬㈱、ニッタ㈱が提供し、グループごとに講師の説明を受けながら ATP ふき取り検査やタンパク質検出キット、スマホで見る顕微鏡などを体験した。



3Mの「ペトリフィルム™」シリーズを用いた実習の様子